行番号	読んだ素材		協力者の発話内容		データ収集者の発話内容	備考
	ページ	文章	発話	日本語訳		
1					ええと、2019年10月10日D、介護福祉士国家試験、読解コーパスの解明調査、Aさんです。ええと、	
2			はい[日本語で発話する]、	「はい。」		
3					第31回平成30年度国家試験総合問題です。どうぞ。	
4		(総合問題2) 次の事例を読んで、問題117から問題119までについて答えなさい。	はい、総合問題2番、あの問題117から119まで、はい[日本語で発話する]、	「はい、総合問題2番、あの問題117から119まで、はい。」		
5		(事例)Gさん(84歳、女性)は、8年前に経済的な理由から介護老人ホームに入所した。	Gさん[日本語で発話する] umur 84 tahun perempuan, 8 tahun yang, 8 tahun lalu ada masalah di ekonominya jadi masuk ke eu, panti sosial khusus eu, lansia.	「Gさん」84歳女性、8年前に経済的な理由で介護老人ホームに入所しました。		
6		Gさんは、「自分のことは、自分でやりたい」といつも話しており、毎朝の体操が日課であった。	Terus Gさん[日本語で発話する] itu apa masih mau melakukan, karena masih bisa melakukan keinginan nya sendiri. Setiap pagi ada melakukan senam, senam pagi.	そして、「Gさん」は自分でやってもまだできるから、自分で出来ることを自分でやりたいです。毎朝体操をやる。		
7		施設のパログラムである健康体操にも他の利用者と楽しみながら毎週参加していた。	Terus di pantinya itu ada program kesehatan dengan olahraga. Jadi setiap hari dia merasa senang untuk mengikuti olahraga tersebut.	施設で健康を維持する為のパログラムがあります。毎朝体操を楽しみに行っています。		
8		しかし、最近足がすくんだようになり、始めの一歩をうまく出せず、歩行に不安を抱えるようになった。	Tapi akhir akhir ini G, eu, di [日本語で発話する] nya itu lebih sering apa ya? Berhenti gitu. Terus satu langkah, untuk melangkah ke satu langkah demi satu langkah itu susah. Jadi dia merasa apa ya? Merasa, merasa takut untuk melangkah demi satu langkah.	しかし最近G、あの、「足」がなんだろう? 止まるような、で一歩一歩の歩行が困難になりました。そのためGさんが、何でしょう、歩くのは怖くなりました。		
9		Gさんは、物忘れなどの症状が以前からみられていたこと、また他の症状もみられるようになったことから、医師の診察を受けたところ、レビー小体認知症(dementia with Lewy bodies)と診断された。	Terus ada, Gさん[日本語で発話する] itu ada, memang sebelumnya ada riwayat.物忘れ[日本語で発話する] ini apa, lebih sering sebelumnya ada riwayat kalau dia itu pelupa. Terus ad, ada juga apa ya? gejala lain yang keliatan dan menyarankan untuk check up ke Dokter. Dari hasil, hasil dari check up itu ada demensia leviso. Ada riwayat dimensianya.	そして、「Gさん」は以前から「物忘れ」という症状がみられ、または他の症状もみられてきた。医師の診察結果はレビー小体認知症がある。		
10		Gさんは、居室の前にあるトイレに行くとき、転倒してけがをするのではないかと不安になっている。Gさんが入所している施設は、N系から介護保険サービス事業者の指定を受けている。	Jadi, Gさん itu pada saat pergi ke toilet. Jadi, di dalam kamarnya Gさん[日本語で発話する] dia terjatuh. Oh, Jadi Gさん[日本語で発話する] itu dia pada waktu dulu pergi ke toilet. Jadi dia takut terjatuh di dalam kamarnya. Jadi, Gさん[日本語で発話する] itu dulu pada saat masuk ke panti sosial itu Gさん[日本語で発話する] dia, dari apa, asuransi. BPJS itu apa, apa ya? apa ya? BPJS itu, ke asuransi kesehatan yang ada di provinsi lain. Jadi, Gさん[日本語で発話する] ini dia setelah masuk ke panti sosial tetap ingin ikut ke, apa namanya tuh, ke asuransi kesehatan tersebut.	「Gさん」はトイレ行くとき、部屋で転倒してしまっ。ああ、「Gさん」はトイレへ行くとき自分が転倒する恐れがあって、心配しています。「Gさん」はその施設に入るとき、彼が、何でしょう、「保険、保険」、BPJS[インドネシア国立封鎖制を言う]のようなものです。彼はこのサービス、何でしょう、他都道府県の保険サービスに入りました。つまり、「Gさん」はその施設に入っても以前の保険サービスも持ち続けたいです。		
11		この施設で生活を続けたいというGさんの意向を受けて、本人を交えて施設職員と介護支援専門員(ケアマネジャー)が支援の内容を検討した。	Jadi si Gさん[日本語で発話する] itu, apa ya, ingin diskusi ke care manager yang ada didalam, yang ada di panti tersebut.	「Gさん」はこの施設のケアマネジャーと相談したい。		
12		(問題117)Gさんが診察を受けるきっかけとなった他の症状とは、発症した認知症(dementia)の特徴的な症状の一つである。	terus, pertanyaannya kenapa si Gさん[日本語で発話する] itu. Oh, Jadi, Gさん[日本語で発話する] itu ada masalah apa dia pengen melakukan check up tersebut. Terus, waktu dimensianya keluar itu, apa yang paling tepat keluar, masalahnya, bukan masalahnya, ini, apa namanya itu? ya, masalahnya yang keluar itu.	そして、質問は、どうして「Gさん」が、ああ、「Gさん」が診察を受けたい理由はなにか、彼の認知症が現れたとき最も適切な問題、問題じゃなくて、これです。何でしょう?		
13		他の症状に該当するものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。	Terus, silahkan cari yang paling tepat dengan masalah di atas.	はい、その現れた問題、以上のことに合っている最も適切なものをえらんでください。		
14		1 片麻痺(かたまひ)	Nomor 1 itu, ini, ada, lumpuh sebelah badan saja	1番は、片麻痺があります。		
15		2 脱抑制	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
16		3 幻視	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
17		4 常同行動	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
18		5 感情失禁	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
19			jawabannya adalah nomor 3 幻視です[日本語で発話する]、	答えは3番、「幻視」です。		
20		(問題118)Gさんの移動に関する支援として、最も適切なものを1つ選びなさい。	Terus pertanyaan nomor, eu, nomor 2, Gさん[日本語で発話する] itu waktu mau berpindah apa yang harus kita dukung yang lebih tepat nya? Kalau ini, nomor 2 tidak cocok.	それに2番、2番の質問です。「Gさん」が移動するときに支援することは何か、適切なものは何ですか? これだと、2番は合っていないと思います。		
21		1 床にある目印をまたぐように声をかける。	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
22		2 車いすで移動する。	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
23		3 居室にカーベットを敷く。	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
24		4 歩幅を小さくするように声をかける。	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
25		5 四点杖(よんでんづえ)の使用を勧める。	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
26					答えはなんですか。	
27			Nomor, nomor 1 先生[日本語で発話する]。 Jadi karena dia apa, berhubungan dengan no 1 tadi karena ada apa gangguan penglihatan bukan ganggunan jadi, masalah dengan penglihatannya, karena dimensia tadi dengan penglihatan ini, jawaban nya no 1. 床にある目印[日本語で発話する] apa dikasih tanda di, di lantai, jadi diambil apa ya? diambil disapa, bukan disapa. Oh di, diajak, di ini, dikasih tau, ikutin petunjuk yang ada di lantai tersebut. Terus Gさん[日本語で発話する] nya itu apa, untuk apa, 1番です[日本語で発話する]、	1. 1番、「先生」。なぜなら、先ほどの1番に問題があるから、視界が邪魔されたから、邪魔っていうか、視界に問題があるから、また認知症で、答えは1番です!床にある目印、床に目印を貼ってあります。だから、挨拶しながら、挨拶しなくて、あ、教えながら、「その床にある目印について行ってください」と声をかけます。そして、「Gさん」が、何でしょう、「1番です。」		
28					どうして1番だと思いますか。	

29			あのう、Gさんが幻視ですね、これ[日本語で発話する]。	「あのう、Gさんが幻視ですね。これ。」	
30					じゃあ、前の問題はなぜ幻視だと思いませんか。
31			なんかほかの症状もあるから、たぶん、物忘れがあったので他の症状もみられた。症状はこれ片麻痺もないし[日本語で発話する]。	「なんかほかの症状があるからたぶん、物忘れがあったので他の症状もみられた。症状はこれ片麻痺もないし。」	
32					何の他症状ですか。
33			あの[日本語で発話する]。apa。	「あの、なんですかね。」	
34			Maksudnya apa itu。	つまり、	
35					インドネシア語で。
36			Kemungkinan yang akan timbul dari apa。認知症[日本語で発話する] yaitu Dokter mengatakan ada masalah yang lain yang keluar dari apa namanya tuh, dari dia Dementia。レビー小体も幻視もありますし、本当はないけど本人は見えないみたい。症状がレビー小体の中は症状もあります[日本語で発話する]。	先生の話によると「認知症」の症状は忘れ物だけではなくほかの症状の出る可能性もあります。「レビー小体の症状の中には幻視という症状もあります」。	
37	(問題119)Gさんの意向を踏まえた介護保険サービスとして、正しいものを1つ選びなさい。		Terus Gさん[日本語で発話する] itu mau apa, melanjutkan apa。Perawat an, asuransi kesehatan dia。あの4番です[日本語で発話する]。あの[日本語で発話する]。ini khusus apa namanya tuh, ke perawat。Tapi yang no 4 ini karena dari pertanyaan nya itu dia ingin melanjutkan asuransi kesehatannya yang dari provinsi sebelumnya。Jadi 特定施設入所だと思えます[日本語で発話する]。5番はあのグループホームみたい。だから選べなかった[日本語で発話する]。	そして、「Gさん」は前の都道府県の保険サービスを継続したい。「あの4番です」。「あの」1番の答えは看護サービスのためだから。だけどGさんは前の都道府県の保険サービスを継続したいという質問なので答えは「特定施設入所だと思えます」。「5番はあのグループホームみたい。だから選べなかった」。	
38	1 看護小規模多機能型居宅介護		[読み飛ばす]	[読み飛ばす]	
39	2 小規模多機能型居宅介護		[読み飛ばす]	[読み飛ばす]	
40	3 短期入所療養介護		[読み飛ばす]	[読み飛ばす]	
41	4 特定施設入居者生活介護		[読み飛ばす]	[読み飛ばす]	
42	5 認知症対応型共同生活介護		[読み飛ばす]	[読み飛ばす]	
43	(総合問題3) 次の事例を読んで、問題120から問題122までについて答えなさい。		総合問題[日本語で発話する] Nomor 3 dari nomor 120 sampai nomor 122。	「総合問題」の3、問題120番から122番まで。	
44	(事例) Hさん(28歳、女性)は、腰髄損傷(lumbar spinal cord injury)で両下肢麻痺(りようかしまひ)の障害があり、車いすを使用してADL(Activities of Daily Living: 日常生活動作)は自立している。		あの[日本語で発話する]。apa Hさん[日本語で発話する] 26 tahun perempuan。Jadi ada riwayat eu。Tulang belakangnya itu。Spinal injury。Jadi, ada, apa, Retak di tulang belakangnya itu。Jadi ada, ada, apa, cacat pada kaki, pada bagian bawah。Jadi setiap hari menggunakan kursi roda。	「あの、なんでしょう」「Hさん」28歳、女性、病歴があります。腰髄損傷(lumbar spinal cord injury)で、あのう、足に、両下肢麻痺があります。毎日車椅子を使用しています。	
45	銀行で働きながら一人暮らしをして、休日は、友人とスキューバダイビングを楽しむた。		Terus dia sambil kerja di Bank Waktu, pada hari libur, Oh, dia bersama temannya ikut ke diving, bersenang senang bersama temannya ikut diving。	そして、銀行で働きながら、休みの日に、あ、彼女は友達と一緒にダイビングを楽しんでいます。友達と一緒にダイビングを楽しんでいます。	
46	Hさんは、こだわりや責任感が強く真面目で、悩みごとを打ち明けられない性格であった。		Gさん[日本語で発話する] ini ada 責任[日本語で発話する]。punya tanggung jawab yang punya, apa,こだわり[日本語で発話する]。tuh, ini, punya tanggung jawab yang ini ya, merasa punya tanggung jawab yang didasari dirinya。Terus ada juga apa ya, Mungkin dia juga bingung, pusing gitu jadi lebih tertutup orangnya, sifatnya itu lebih tertutup。	「Gさん」は「責任」をもって、あのう、何でしょう。「こだわり」自分に対する責任を持っています。それ、彼女もたまに悩んでいて、困っているみたいで、自分が打ち明けられない性格を持っているようになりました。	
47	ある日、友人が表情の暗いHさん心配して話を聞いてみると、「食事が増えず、頭痛や思考力低下があり、寝つきは良いが、すぐに目が覚めて眠れず、仕事上のミスが続き仕事に行けない日がある」と話した。		Jadi, pada suatu hari temannya itu melihat wajah G, Hさん[日本語で発話する] ini apa ya, kurang ceria。Jadi dia apa ya, jadi dia itu, temannya itu ini, eu, apa sih, shinpai, apa ya namanya, khawatir dengan Gさん[日本語で発話する]。eh Hさん[日本語で発話する]。Kananapa ya, dia ngakak, ngakak makan, sakit kepala, terus apa ya, dia berpikir, pola pemikirannya itu, apa ya, kurang mau berpikir。Tapi ini, apa tidurnya itu tidak bermasalah, tapi lebih cepat terbangun, jadi susah tidur jadinya。Terus masalah pekerjaan, lebih banyak miss-nya jadi lebih banyak kesalahan, kesalahannya。	ある日G、友人が「G、Hさん」の顔を見て、Hさんは何でしょう。あまり元気でありません。だから、友達が、あのう、友達が心配して、何でしょう。「Gさん」、いや「Hさん」のことで心配しています。なぜなら、彼女はあまり良くないし、頭痛もあるし、また、あのう、考え方が、彼女の考え方が、何でしょう、あまり思考力がない。しかし、睡眠は問題がありません。ただ、彼女が早く起きたりして、あまり寝られません。また、仕事もミスばかりです。	
48	友人の勧めで専門医を受診した結果、Hさんはうつ病(depression)と診断された。		Terus, temannya itu menyarankan untuk cek ke dok (ter), ke apa ya, ke bagian spesialis, dokter spesialis itu。Terus, hasil dari dokter spesialis itu ada depresi katanya, utsaubouy。Jadi, depresi。	そして、その友人が専門家へ受診することを勧めました。その結果はうつ病と診断されました。うつ病です。	
49	その後、治療を受けながら仕事を続けていたが、激しい動悸(どうき)息苦しさ、めまいを伴うパニック発作が繰り返し起こり、仕事を休職して治療に専念することにした。		Terus, dia, setelah itu dia sambil berobat, sambil bekerja, apa, minum, berobat sambil bekerja juga, terus ada ini, apa, detak jantungnya itu lebih ini ya, lebih tidak teratur, terus sesak, terus apa namanya itu, puyeng, apa puyeng-puyeng, ya, merasa pusing gitu, terus panik, apa, berulang kali, terus, jadi dia ada ide untuk ini, ya udah berhenti, sementara waktu untuk berhenti bekerja。	その後、彼女は治療をしながら、あのう、仕事をしています。そして、これもあります。激しい動悸、彼女は心臓の不規則な鼓動があります。また、めまい、はい、めまいもします。パニック、あのう、繰り返し起きます。そうしたら、彼女が仕事をやめようと思いつきました。しばらく仕事を辞めます。	
50	(問題120)Hさんの睡眠障害として、正しいものを1つ選びなさい。		Terus, Hさん[日本語で発話する] gangguan pada pola tidurnya Hsan itu yang paling tepat apa?	質問は「Hさん」の睡眠障害は最も正しいのはなんですか?	
51	1 レストレスレッグス症候群 (restless legs syndrome)		[読み飛ばす]	[読み飛ばす]	
52	2 概日リズム睡眠障害 (circadian rhythm sleep disorder)		[読み飛ばす]	[読み飛ばす]	
53	3 レム睡眠行動障害 (REM sleep behavior disorder)		[読み飛ばす]	[読み飛ばす]	
54	4 環境要因性睡眠障害		[読み飛ばす]	[読み飛ばす]	
55	5 中途覚醒		[読み飛ばす]	[読み飛ばす]	
56			jawabannya no.5。Jadi, apa namanya itu, karena bisa tidur tapi, tapi, pertanyaan nya itu,すぐに目が覚めて眠れず[日本語で発話する]。katanya。Tidur tapi lebih sering terbangun, jadi ga bisa tidur lagi。答えは, Jawabannya no.5 と思います[日本語で発話する]。	答えは5番です。睡眠は問題ないけど「すぐに目が覚めて眠れず」と言いました。だから「答えは」、5番だ「と思います」。	
57					どうしてそう思いますか。
58			Karena apa namanya itu, ini sensei。Jadi, dia bisa tidur tapi, tapi,すぐに目が覚めて眠れず[日本語で発話する]。Jadi tertidur, kemudian terbangun dan tidak bisa tidur lagi。中途[日本語で発話する]。	この理由です。先生、彼女は寝ても「すぐに目が覚めて眠れず」。つまり、彼女は寝たり寝られなかったりする。「中途」。	

59				1番から4番の病気が聞いたことありますか？ 見たことありますか？	
60		まだですね、これは[日本語で発話する]。Apa, レスレグス、これはあまり休まないみたいですね[日本語で発話する]。		「まだですね、これは」[レスレグス、これはあまり休まないみたいですね。]	
61				聞いたことないですか4番は？	
62		はい、ないです[日本語で発話する]。		「はい、ないです。」	
63				環境のせいじゃなくて？	
64		いや、4番はありますね、あのう、環境因性でもじゃないですね、あのう、環境はあのう、なんかうさくないけど、うさくないとか、環境の、あのう、環境のせいじゃなくて、たぶん、だとします[日本語で発話する]。		「いや、4番はありますね、あのう、環境因性、でも、じゃないですね、あのう、環境はあのう、なんかうさくないけど、うさくないとか、環境の、あのう、環境のせいじゃなくて、たぶん、だとします。」	
65		はい、途中で起きたから夜中に、あのう、5番[日本語で発話する]。		「はい、途中で起きたから夜中に、あのう、5番」	
66	(問題121)Hさんの食欲不振や睡眠障害は改善せず、日常生活に介護が必要になり居宅介護を利用し始めた。	Terus pertanyaan yang selanjutnya, jadi dia apa namanya, gimana supaya memperbaiki pola makan dan tidurnya itu. Jadi dia mulai menggunakan 居宅介[日本語で発話する] apa ya, [日本語で発話する]。121. Jadi, Hさん[日本語で発話する] ini supaya, apa ya, karena tidak bisa, apa ya, memperbaiki pola tidur dan makannya itu, jadi apa yang harus, dia mulai melakukan perawatan yang ada di rumahnya, yang datang ke rumah nya.		次の問題、あのう、何でしょう、彼女の睡眠障害と食欲不振を改善するために「居宅介」を利用する。「これで」、121。「Hさん」が自分の睡眠障害と食欲不振を改善できなかった。家で、家に来てくれる居宅介護を使用し始めました。	
67	半年ほど経過した頃、「早く良くなりたい」と介護福祉職に話した。	Terus, setelah setengah tahun dia menggunakan itu, dia pengen cepat sembuh gitu kan, dari, dia berbicara ke ini, ke perawatnya.		半年後利用したところ、Hさんは早く治りたいと居宅介護さんに言いました。	
68	介護福祉職が、Hさんのつらい思いを受容した上でかける言葉として、最も適切なものを1つ選びなさい。	Terus jadi apa ya, supaya 受容[日本語で発話する]。bahasa yang lebih tepat untuk disampaikan ke Hさん[日本語で発話する] ini silahkan pilih di bawah.		そして、何でしょう。「受容」「Hさん」にどんな言葉で伝えたいか、下から選んでください。	
69	1「早く良くなってくださいね」	[読み飛ばす]		[読み飛ばす]	
70	2「すぐに治りますよ」	[読み飛ばす]		[読み飛ばす]	
71	3「ゆっくり休むことも必要ですよ」	[読み飛ばす]		[読み飛ばす]	
72	4「治療、頑張ってくださいね」	[読み飛ばす]		[読み飛ばす]	
73	5「気分転換に旅行に行くといいですよ」	[読み飛ばす]		[読み飛ばす]	
74		Jawabannya no.3. Jadi kata temannya istirahat itu juga baik. 5番選べなかった理由はHさんはあのなんか[日本語で発話する] setiap hari lebih banyak bekerja bukan karena dia pusing dengan pekerjaan, tapi dia butuh istirahat. Jadi makanya kata perawatnya kamu tuh lebih baik ini aja, istirahat yang baik. Yang benar-benar istirahat. Jadi bukan karena dia pengen jalan-jalan untuk menghilangkan stressnya, melainkan benar-benar beristirahat.		答えが3番です。休んでいることはよいと友達が言いました。「5番選べなかった理由はHさんはあのなんか」毎日もっと仕事を、仕事で頭が起きたというわけではなくて、休みが必要だからです。だから、介護職員は「これでよい、ゆっくり休んでください。ちゃんと休みを取った方がいい。だから、旅行でストレス発散にしないで、ちゃんとゆっくり休んでいることが大切です。」	
75				ゆっくり休んだから答えは3番？	
76		はい、気分転換はたぶんストレスのせいだからHさんはうつ病だから気分転換は必要はない[日本語で発話する]。		「はい、気分転換はたぶんストレスのせいだからHさんはうつ病だから気分転換は必要はない。」	
77				この言葉はどう思いますが「早く良くなりたい」と介護福祉士に言いました。	
78		いやなんか食事とかはちよつとたぶん睡眠もとれるかなと思うので、食欲もあのう、寝る時間もとれるように[日本語で発話する]。Supaya, apa namanya itu, nafsu makan dan pola tidurnya lebih baik lagi gitu. Karena dia, jadi apa, nggak bisa istirahat, akibatnya jadi dia, makanya dia merasa penyakit depresi itu.		「いやなんか食事とかちよつとたぶん睡眠もとれるかなと思うので、彼女の食欲と睡眠時間もとれるように」休みが必要だと思います。彼女はちゃんと休みを取れなかつたからうつ病に抱えてしまった。」	
79	(問題122)Hさんは仕事を休んで治療に専念した結果、趣味のスキューバダイビングが楽しめるまでに回復した。	No 122. Jadi Hさん[日本語で発話する] ini apa, setelah apa, sambil berobat dan berhenti bekerja ada hobi baru, sky diving itu. Jadi bisa apa ya pulih lagi gitu kan. Kafuku shita		問題122番、「Hさん」は、あのう、その後、治療をしながら、仕事を休んでいて、そのスカイダイビングという新しい趣味ができました。それで回復できましたね、回復した。	
80	介護福祉職に、「仕事に復帰しようと思っている」と話した。	Terus katanya, apa ya, supaya dia bisa balik lagi ker(a). Jadi Hさん[日本語で発話する] ini cerita ke perawatnya pengen balik kerja lagi.		そして、言いました。何でしょう。「Hさん」は仕事に復帰したいと介護福祉士に言いました。	
81	介護福祉職が紹介するサービスとして、最も適切なものを1つ選びなさい。	Terus perawatnya itu mempromosikan, apa ya, menyarankan untuk ikut ke program yang mana lebih tepatnya		そして、その介護福祉士はどんなサービスを紹介するんですか？	
82	1 リワークプログラム	[読み飛ばす]		[読み飛ばす]	
83	2 レスバイトサービス (respite service)	[読み飛ばす]		[読み飛ばす]	
84	3 ピアカウンセリング (peer counseling)	[読み飛ばす]		[読み飛ばす]	
85	4 セルフヘルプグループ (self-help group)	[読み飛ばす]		[読み飛ばす]	
86	5 ガイドヘルプサービス	[読み飛ばす]		[読み飛ばす]	
87		これはたぶん2番ですね、レスバイトサービス[日本語で発話する]。		「これはたぶん2番です。レスバイトサービス。」	
88				インドネシア語でなんですか。	
89		Karena ingin, dengan ini keluarga karena itu karena dia ingin, jadi program yang baru dikembalikan lagi.		なぜなら、彼女の希望、「でもこれは家族のためだからかな？1です」。あのう、なぜなら、「仕事に戻りたいかな」。だからリワーク、新しいプログラムを復帰する。	
90		あのう、2番は家族の休むことできるように、だから2番じゃなかった[日本語で発話する]。		「あのう、2番は家族の休むことできるように、だから2番じゃなかった。」	
91				うん、うん、そうですね。	
92		うん[日本語で発話する]。		「うん。」	
93				はい、じゃ、次、最後ですね。はい、どうぞ。総合問題4。	
94	(総合問題4) 次の事例を読んで、問題123から問題125までについて答えなさい。	Nomor 123 sampai nomor 125.		問題123番から125番まで。	

95	【事例】Jさん(女性)は、介護福祉士養成施設の学生である。	Jさん[日本語で発話する]perempuan,masih mahasiswa,jadi masih sekolah.	「Jさん」女性、大学、学生です。		
96	Jさんは、希望していた障害児入所施設で実習をすることになった。	Jさん[日本語で発話する]itu apa, pengen praktik mandiri ke, 児入施設[日本語で発話する], ke panti, ke panti anak-anak yang ada, cacatnya.	「Jさん」は障害児入所施設で実習したいという希望があります。		
97	この実習では、障害特性を理解して、介護実践の在り方を学ぶだけではなく、個別支援計画(介護計画)作成と実施、評価までの介護過程の展開を学ぶことになっていた。	Jadi, waktu dia praktik mandiri itu pengen mengetahui tentang masalah cacat pada anak-anak. Terus bukan saja untuk belajar tentang masalah anak-anak itu, tapi,tokubetsu sih, ini enggak tau ini bahasa Indonesia nya apa,coreインドネシア語でわからない,飛ばします[日本語で発話する],個別支援計画[介護計画]作成と実施,評価までの介護[日本語で発話する].Jadi dia pengen belajar tentang proses keperawatannya juga.	Jさんは学びたいだけではなく個別支援計画[介護計画]作成と実施、評価までの介護も学びたいです。「これインドネシア語でわからない、飛ばします。個別支援計画[介護計画]作成と実施、評価までの介護。だから僕が看護プロセスについても学びたいと思っています。		
98	Jさんは、対象となる利用者としてK君(19歳、男性)を担当することになった。	Terus, Jさん[日本語で発話する]itu, ada nama pasien itu K君[日本語で発話する]. Jadi, laki-laki, menjadi apa ya 担当[日本語で発話する] jawab ke K, ke pasiennya itu.	そして、「Jさん」は、あの方、ある患者が「K君」といいます。男性です。Jさんは、あの方、「担当」、Kさんの担当者になります。		
99	K君は重度の脳性麻痺(のうせいまい)(cerebral palsy)がある。	Jadi, si Kさん[日本語で発話する]ini ada cerebral palsy. Ada gangguan di otaknya.	「Kさん」は脳性麻痺をもっています。		
100	K君が2歳の時に両親は離婚して、母親が一人でK君を育てていた。	Terus Kさん[日本語で発話する] ini pada umur 2 tahun orang tuanya berpisah. Jadi dia tinggal dengan ibunya.	「Kさん」は2歳の時に両親が離婚されました。母親と一緒にくらします。		
101	母子の生活は困窮していた。	Jadi dirawat oleh ibunya. Jadi si Kさん[日本語で発話する] ini anak yang dirawat ibunya.	母子と生活しています。「Kさん」は母に育てられた子供です。		
102	K君が9歳の時に、母親はK君を施設に入所させることを希望し、この施設に入所することになった。	Setelah Kさん[日本語で発話する] ini umur 9 tahun orang tuanya memasukannya dia ke panti ini ya, panti anak-anak ini. Jadi dia masuk ke panti khusus anak-anak	9歳のとき、母親が「Kさん」を施設に入所させました。		
103	現在K君は、言語による意思の疎通は困難であり、座位が保持できる程度である。	Sekarang Kさん[日本語で発話する] itu susah ngomong,berfikir juga susah. Bisa duduk tapi ga begitu lama.	現在「Kさん」は言葉を話さない、思考することも困難しています。座ることができるけどそんなに長くはできない。		
104	また、てんかん(epilepsy)の発作(強直間代発作)が時々みられるが、重症発作ではない。	Karena ada epilepsi juga jadi apa ya tiba tiba muncul epilepsi pun, kadang-kadang muncul epilepsinya.	てんかんも持っているので時々見られます。		
105	(問題123)K君が入所している施設の根拠となる法律として、正しいものを1つ選びなさい。	Terus, pertanyaannya panti mana yang lebih tepat untuk dimasuki Kさん[日本語で発話する] ini?	質問は「Kさん」はどここの施設に入所すればいいですか?		
106	1 母子及び父子並びに寡婦福祉法	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
107	2 「障害者総合支援法」	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
108	3 生活保護法	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
109	4 児童虐待の防止等に関する法律	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
110	5 児童福祉法	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
111	(注)「障害者総合支援法」とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」のことである。	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
112		Jawabannya no.4. Jadi masuk ke panti yang apa, apa ya 虐待 虐待[日本語で発話する] itu, ya perlakuan yang tidak baik untuk anak-anak. Jadi dimasukkan ke panti yang nomor 4 ini. 児童虐待の防止等に関する法律[日本語で発話する]はい[日本語で発話する].	答えは4番です。だから、あの方、施設に入ります。えっと、「虐待、虐待」は何でしょう。まあ、児童虐待です。だから、この4番の施設に入ります。「児童虐待の防止等に関する法律」。はい。		
113				4番?	
114		はい、4番かな[日本語で発話する].	「はい、4番かな」。		
115				どうして4番だと思いますか?インドネシア語でどうぞ。	
116		Ya, karena umurnya masih 9 tahun, jadi masih anak-anak. Jadi, kayanya lebih baik no.4 untuk apa ya, melindungi dia. Mungkin, kalau no.5 ini saya kurang tau, sensei. 児童福祉法[日本語で発話する] nggak tahu	まあ、まだ9歳だから、まだ子供なので。だから、4番の児童虐待の防止法に入所した方がいいと思います。5番の答えはわかりません、先生。「児童福祉法」はわかりません		
117		でも[日本語で発話する] Ini anak-anak juga, tapi, apa ya, pantinya seperti apa tuh, nggak tau aku. Masuk ke hou(ritsu) apa, di nega(r), apa namanya itu, di hoursu itu nggak tau di mana.	「でも」、これも育児ですが、どんな施設が分かりません。どの法律、国、あの方、何でしょう、どの法律に入るの分かりません。		
118				1番から4番はわかりますか?どういう法律か。	
119		たぶんじゃないですね、なんか法律育児とかはあの聞いたことないから障害者総合支援法はじゃない、生活保護もじゃないからあ、経済的に関係ない、Kさんまだ20歳にならないから育児の方がいいと思います[日本語で発話する] Apa ya, karena umurnya ini belum 20 tahun, kalau 生活保護 ini kan misalnya tidak ada orang tuanya, ekonominya bermasalah, jadi nggak bisa hiduplah ibaratnya. Jadi no.3 itu gak mungkin, makanya no.4, aku pilih	「たぶんじゃないですね、なんか法律育児とかはあの聞いたことないから、障害者総合支援法はじゃない、生活保護もじゃないからあ、経済的に関係ない、Kさんまだ20歳にならないから育児の方がいいと思います」。Kさんはまだ20歳にはならないから育児の方がいいと思います。[生活保護]というのは親無しや経済的な問題などに関係がある。3番の答えではないから4番を選びました。		
120				えっと、Kさんの生活は大変ですか?大変じゃないですか。	
121		大変です、あの方、脳性麻痺あるから先生だから、あの方、なんか[日本語で発話する].	「大変です、あの方、脳性麻痺あるから、先生。だから、あの方、なんか」。		
122				経済的にはどうですか。	
123		経済的にはあの方、書いてないからの中に[日本語で発話する].	「経済的にはあの方、書いてないからの中に」。		
124				この中に経済的には書いてない?	
125		うん[日本語で発話する]	「うん」。		
126				えっと、これは読めましたか?文書的には経済的には問題ありません。	
127		あ、これはわからないですね、これは何これ?読めない、困ってる、たぶん経済かもしれない、はい、読めないです、あー[日本語で発話する] ya, orang tua nya itu ada masalah di ekonomi.	「あ、これはわからないですね、これは何これ?読めない、困ってる、たぶん経済かもしれない、はい、読めないです、あー」。		
128				漢字が「笑う。」はい、じゃ、次、124番行きましょう。	

129	(問題124)Jさんは、K君の支援計画作成に責任を持つ職員に計画作成の注意点を聞きたいと、実習指導者に相談した。	No.124. Kさん[日本語で発話する] ini, Oh, jadi apa namanya tuh, penanggung jawab Kさん[日本語で発話する] ini rencana yang paling harus di perhatikan untukjishu. Untuk apa, yang paling di tanyakan oleh praktek mandiri. Diskusilah apa, ke penanggung jawab Jさん[日本語で発話する] ini	「Kさん」は、あ、何でしょう。「Kさん」の担当者は計画を作成するために注意するべきこと、実習、実習指導者に相談します。「Jさん」は。		
130	K君の支援計画作成に責任を持つ職員として、正しいものを1つ選びなさい。	Terus, dukungan apa yang lebih tepat untuk Kさん[日本語で発話する] ini apa?	そして、「Kさん」の支援計画作成は最も正しいのはなんですか?		
131	1 生活支援員	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
132	2 児童自立支援専門員	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
133	3 サービス提供責任者	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
134	4 児童発達支援管理責任者	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
135	5 相談支援専門員	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
136		No.3. kayanya.	3番かもしれません。		
137				3番ですか。	
138		ちょっとまって、先生[日本語で発話する]No.4	「ちょっと待って、先生」、4番です。		
139				4番?	
140		うん[日本語で発話する]。	「うん」。		
141				どうして4番だと思いますか。インドネシア語で。	
142		No.5 ini apa ya, care manager gitu, terus 生活支援[日本語で発話する] ini, apa ya, ya staf yang ada di, ya untuk dukung kehidupannya itu. Terus karena Kさん[日本語で発話する] itu masih anak-anak, kayanya tepat nya ke 育児[日本語で発話する]。Kalau yang 自立支援[日本語で発話する] ini kan untuk cari kerja gitu. Kさん[日本語で発話する] ini kan belum masih kerja karena kan masih kecil, kayanya lebih ke 管理[日本語で発話する] perawatan ya, untuk melindungi dia	5番の答えはケアマネジャーのことなので違います。1番の答えも違います。「Kさん」はまだ子供だから、4番は最も正しいだと思います。「管理」という言葉が書いてあるからで、答えは4番だと思います。5番はちがうだと思うのは相談支援専門員はケアマネジャーなのでここはちがうだと思います。1番はちがうだと思うのは生活支援のためのなら1番もちがうと思います。2番もちがうと思う理由はその仕事探すための専門員むらちがうだと思います。やっぱりその4番です。あそこに管理という言葉が書いてあるので気になります。4番にしました[通訳者の発話]。		
143				気になったので?	
144		2番と4番は似ている。あのう、育児の関係あるかもしれない[日本語で発話する]。でもたぶんこれはじゃない[日本語で発話する]。No.2 itu bukan	2番と4番は似ているけど育児の関係するかもしれない。でもたぶんこれじゃない」。答えは2番ではないです。		
145				はい、分かりました。じゃ、次、問題125番。はい。	
146	(問題125)Jさんは個別支援計画作成にあたって、昼食後にK君と向き合う時間を多くとった。	Jさん[日本語で発話する] itu apa, buat rencana khusus untuk. Terus waktu makan siang, 昼食向き合う時間[日本語で発話する] Oh jadi lebih banyak apa ya? Apa ya mendongak ke atas mukiau itu?	「Jさん」はKさんの個別支援計画を作成する。「昼食向き合う時間」。あ一向き合うと多くなる。向き合うとは上を向いてということだろう。		
147	ある日、K君に話しかけていると、突然両上下肢を硬直させ、がたがた震わせた後、意識を失ってしまった。	Suatu hari, waktu menegur Kさん[日本語で発話する] ini, tiba tiba apa ya, badan, tangannya atau kakinya itu, kayanya terlekat aja gitu kan, nggak tau, Oh, kejang-kejang, terus pingsan gitu	ある日、「Kさん」とお話しした所、Kさんが突然、何でしょう、体が手や足が急に倒れまし。わかりません。ああ一握撃して意識を失ったんだ。		
148	慌てたJさんはすぐに、近くの職員に連絡をした。	Jadi Jさん[日本語で発話する] itu langsung panggil perawat, staf yang lain.	「Jさん」はすぐ他の職員を呼びます。		
149	K君の発作が落ち着いた後、実習指導者がJさんに、K君の発作時の対応について教える内容として、最も適切なものを1つ選びなさい。	Terus Kさん[日本語で発話する] itu setelah, apa ya, setelah mulai stabil. Jadi si Jさん[日本語で発話する] ini 対応, 対応[日本語で発話する]。Untuk menyelaikan, taiou apa sih [日本語で発話する]? Ini apa? ya untuk...Oh untuk menolong Kさん[日本語で発話する] ini, terus dia mikir, tindakan apa yang lebih tepat untuk menolong Kさん[日本語で発話する] ini pertanyaannya.	「Kさん」はその後、何でしょう、落ち着いた後に、「Jさん」は、「対応、対応」助けるため、対応は何ですか。「先生」?これは何でしょう?ああ、「Kさん」を助けるためにどんな対応すればいいですか?というのが質問です。		
150	1 大声で名前を呼ぶ。	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
151	2 タオルを口にくわえさせる。	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
152	3 顔を横にして頭を上げる。	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
153	4 救急車を呼ぶ。	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
154	5 からだを押さえて発作を止める。	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
155		Jawabannya no.3. 先生[日本語で発話する]。Kopalanya itu di miringkan, terus dagunya 顔を上げる[日本語で発話する]。apa, ago, iya dagunya diangkat ke atas. Karena kalau, iya, ini yang paling tepat. Karena no 5 dan 4 ini tidak ada yang pas. はい[日本語で発話する]。	答えは3番です。「先生」、顔を横にして、顎を上げて、はい。これが一番適切です。4番と5番は違うと思います。「はい」。		
156				どうして違うと思うですか。	
157		4番はあの救急車救急車を呼ぶのは、実習生だからこれのあのう、仕事じゃないです。たぶん他職員とかまだすぐ対応が救急車はまだまだ。仕事じゃないです。[日本語で発話する]。	「4番はあの救急車救急車を呼ぶのは、実習生だからこれの、あのう、仕事じゃないです。たぶん他職員とかまだすぐ対応が、救急車はまだまだ。仕事じゃないです」。		
158				どうして3番ですか。	
159		Karena ada epilepsi tadi. てんかん, 先生[日本語で発話する]。	「てんかん」がありますから、「先生」。		
160		口からよだれとか出てるから、もし顔を横にしないと言ってくるかもしれないのも危険だと思います。けいれん、体もガタガタ[日本語で発話する]。Ini kan gemeteran, gemetar gemeteran gitu terus pingsan. 意識[日本語で発話する]。はい[日本語で発話する]。pingsan.	「口からよだれとか出てるから、もし顔を横にしないと言ってくるかもしれないのも危険だと思います。けいれん、体もガタガタ」というのは震えるという意味ですね。体が震えて意識を失いました。「意識」「はい」、意識を失いました。		
161				この問題で聞いているのはなんですか。	
162		あのう、Apa, JさんのKさんの対応[日本語で発話する]。	「あのう」、何でしょう、「JさんのKさんの対応です」。		
163				何の対応ですか。	
164		この体をガタガタする時は何をしますか[日本語で発話する]?	「この体をガタガタする時は何をしますか?」		
165				インドネシア語でどうぞ。	

166		Jadi, pada saat membantu Kさん[日本語で発話する]itu, apa yang dipikirkan oleh Jさん[日本語で発話する]?	だから、「Kさん」をたすける時に「Jさん」は何を考えていますか?		
167				あ、つまり、125番はKさんをたすけるためにJさんは何をしたらいですか言うふうに聞いています。	
168		うん[日本語で発話する].	「うん」。		
169		Setelah kondisi badannya stabil lagi baru ada pertanyaan itu.	Kさんのか身体を落ち着いた後、その質問が出ます。		
170				Kさんの体を落ち着いた後にJさんは何をずるかを質問だと思えます。	
171				じゃあインドネシア語でこれはどういう読み解きます?	
172		Ini? 教える内容[日本語で発話する].	これは? 教える内容。		
173				誰が誰に?	
174		あのう[日本語で発話する]. Apa sih, 職員先生 実習生の指導者に教える[日本語で発話する].	「あのう、何でしょう。」職員先生、実習生の指導者に教える。		
175				指導者に教える?	
176		うん[日本語で発話する].	うん。		
177				インドネシア語でどうぞ、誰かがだれかに?	
178		Staff yang ada disitu yang mengajarkan ke Jさん[日本語で発話する].	近くにいる職員が「Jさん」に教えてくれました。		
179				近くにいる職員がJさんに教えてくれました?	
180		責任[日本語で発話する] apa namanya, ini yang ini nih 個別支援計画作成[日本語で発話する]. Ini kan ada nih, 個別.	「責任」者、何でしょう、これです。「個別支援計画作成」、これ、ここにありますね。		